

Q. 突然、耳の聞こえが悪くなり耳鳴りがするんですけど、耳鳴りのお薬はありますか？

A. 「耳鳴り」の効能をもった市販薬もございますが、「耳鳴り」が「突発性難聴」など、すぐに治療を必要とする疾患の症状が出ている可能性があります。そういった症状が見られたらまず医療機関を受診しましょう。



(突発性難聴とは?)

突発性難聴は、突然左右の耳の一方(ごくまれに両方)の聞こえが悪くなる疾患です。幅広い年代に起こりますが、特に働き盛りの40~60歳代に多くみられます。

前日は問題なかったにもかかわらず、朝起きてテレビをつけたら音が聞こえにくい、あるいは電話の音が急に聞こえなくなるなど、前触れなく突然に起こることがあります。



聞こえにくさは人によって異なり、まったく聞こえなくなる人もいれば、高音だけが聞こえなくなる人もいます。後者では、日常会話に必要な音は聞こえているため、難聴に気づくのが遅れてしまいがちです。聴力が改善したり、悪化したりを繰り返すといった症状の波はありません。また、難聴の発生と前後して、耳閉感(耳が詰まった感じ)や耳鳴り、めまい、吐き気などを伴うケースも多く、耳鳴りで受診したら突発性難聴だったという人もいます。

(とにかく早めの治療を！)

明確な原因など分からないことがたくさんありますが、1週間以内、できれば48時間以内の治療を勧めることも多いです。治療を始めるのが早いほど、その後の聴力を良好に保てる可能性が高いです。当てはまるような症状があれば、早めの受診を心掛けましょう。